

レジメン名

FTD/TPI+ramcircumab療法

出典

Lancet.2021 Jan 25.doi:10.10016/S2468-1253(20)30396-4

サイラムザ適正使用ガイド2020年11月改訂

サイラムザ添付文書2020年11月改訂

ロンサーフ添付文書2020年10月改訂

実施部署区分

☒入院
☒外来
☐処置

対象疾患

胃がん

☒進行・再発

☐補助療法(術前・術後)

☐
☐

1コース期間 28日

(次のコースまでの標準期間)

総コース数 PDまで

投与減速の基準

サイラムザ	Grade1または2のInfusion reaction: 投与速度を50%に減速。その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与。
-------	--

投与減量の基準

サイラムザ	蛋白尿	2g/日以上(初回発現)	6mg/kg
		2g/日以上(2回目以降)	5mg/kg
ロンサーフ	ANC	500/mm ³ 未満	再開時、コース単位で1日単位量として10mg/日単位で減量(最低投与量は30mg/日)
	PLT	5.0万/mm ³ 未満	

投与中止の基準

(開始・再開の基準)

サイラムザ	蛋白尿	3g/日以上	ネフローゼ症候群を発現
	高血圧	症候性のGrade2 Grade3以上	
ロンサーフ	ANC	1000/mm ³ 未満	(1500/mm ³ 以上)
	PLT	5.0万/mm ³ 未満	(7.5万/mm ³ 以上)
	Hb	7g/dL未満	(8g/dL以上)
	Cr	1.5mg/dLを超える	(1.5mg/dL以下)
	T-bil	2mg/dLを超える	(1.5mg/dL以下)
	AST、ALT	100IU/Lを超える*	(100IU/L以下*)
	末梢神経障害	Grade3以上	(Grade2以下)
	非血液毒性	Grade3以上	(Grade1以下*)

*脱毛、味覚異常、色素沈着、原疾患に伴う症状は除く

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
ラムシルマブ(サイラムザ)	8mg/kg	生食250mL	60分※1	day1、15
※1 初回60分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
トリフルリジン・チピラシル塩酸塩(ロンサーフ)	35mg/m ² /回※2	朝夕食後		day1-5、day8-12
	※2 体表面積ごとで初回基準量を決める 1.07m ² 未満: 35mg/回(70mg/日) 1.07m ² 以上~1.23m ² 未満: 40mg/回(80mg/日) 1.23m ² 以上~1.38m ² 未満: 45mg/回(90mg/日) 1.38m ² 以上~1.53m ² 未満: 50mg/回(100mg/日) 1.53m ² 以上~1.69m ² 未満: 55mg/回(110mg/日) 1.69m ² 以上~1.84m ² 未満: 60mg/回(120mg/日) 1.84m ² 以上~1.99m ² 未満: 65mg/回(130mg/日) 1.99m ² 以上~2.15m ² 未満: 70mg/回(140mg/日) 2.15m ² 以上: 75mg/回(150mg/日)			

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ ポスト Medikation、溶解液まで含む)
day1、15 ①ボラミン5mg+生食100mL(15min) ②サイラムザ8mg/kg+生食250mL(60min※ 1) インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)
day1-5 ロンサーフ 35mg/m ² /回※2 1日2回朝夕食 後 day8-12 ロンサーフ 35mg/m ² /回※2 1日2回朝夕食 後